

監査公表第18号(令和4年3月4日、県公報第279号登載)

農林水産部出先機関定期監査結果(令和3年度)

第1 監査の概要

1 準拠する基準

福岡県監査委員監査基準(令和2年監査公表第1号。以下「監査基準」という。)に準拠して、監査を実施した。

2 監査の種類

(1) 財務監査(定期監査)

監査基準第2条第1項第1号に規定するもののうち、毎会計年度少なくとも1回以上期日を定めて行う監査

(2) 行政監査

監査基準第2条第1項第2号に規定する監査

3 監査の対象

(1) 監査対象機関：農林水産部の出先機関21機関

(2) 監査対象期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日

4 監査の着眼点

今回の監査は、財務に関する事務及びその他の事務が適正に執行されているか、併せて経済性、効率性及び有効性を考慮して執行されているかに意を用いて実施した。

5 監査の実施内容

(1) 監査実施期間：令和3年5月31日～令和3年6月30日

監査対象機関ごとの監査実施日は、次のとおりである。

監査対象機関名	監査実施日
福岡農林事務所	令和3年5月31日～令和3年6月28日
朝倉農林事務所	令和3年6月11日～令和3年6月28日
八幡農林事務所	令和3年5月31日～令和3年6月29日
飯塚農林事務所	令和3年6月11日～令和3年6月30日
筑後農林事務所	令和3年5月31日～令和3年6月29日
行橋農林事務所	令和3年6月11日～令和3年6月30日
農林業総合試験場	令和3年6月11日～令和3年6月30日
農林業総合試験場資源活用研究センター	令和3年6月11日～令和3年6月29日
農林業総合試験場豊前分場	令和3年5月31日～令和3年6月29日
農林業総合試験場筑後分場	令和3年5月31日～令和3年6月3日
農林業総合試験場八女分場	令和3年5月31日～令和3年6月3日
農業大学校	令和3年5月31日～令和3年6月30日
中央家畜保健衛生所	令和3年5月31日～令和3年6月3日

監査対象機関名	監査実施日
北部家畜保健衛生所	令和3年5月31日～令和3年6月30日
両筑家畜保健衛生所	令和3年6月11日～令和3年6月30日
筑後家畜保健衛生所	令和3年6月11日～令和3年6月28日
筑後川水系農地開発事務所	令和3年5月31日～令和3年6月28日
水産海洋技術センター	令和3年6月11日～令和3年6月30日
水産海洋技術センター有明海研究所	令和3年5月31日～令和3年6月28日
水産海洋技術センター豊前海研究所	令和3年5月31日～令和3年6月28日
水産海洋技術センター内水面研究所	令和3年5月31日～令和3年6月3日

(2) 主な調査項目

ア 収入

使用料及び手数料、財産収入、諸収入等の調定及び収入の状況、現金領収証の取扱い及び払込みの状況、保管現金（緊急用前渡資金等）の状況、債権の管理状況、収入未済解消の取組状況、証紙収入の消印状況及び金額の確認

イ 支出

報償費、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料等の執行状況

ウ 人件費

報酬及び給料（会計年度任用職員等）の執行状況、諸手当の認定及び支給の状況

エ 契約

契約締結及び履行確認の状況

オ 公有財産

土地、建物、工作物及び樹木等の管理状況

カ 物品

取得、管理及び処分の状況

キ 工事

設計積算及び施工等の状況

ク 補助事業

補助事業の執行状況

第2 監査の結果

第1のとおり監査した限りにおいて、下記事項を除き適正に執行されていた。

- 1 指摘事項（是正又は改善等を要し、著しく適正又は妥当性を欠くもの）
指摘事項に該当するものは、次のとおりである。

対象機関名	調査区分	件数	説明
農林業総合試験場 八女分場	収入	1	試験研究費受託金について、契約締結後、速やかに調定すべきところ、調定が遅延していた。
計			1件

- 2 注意事項（是正又は改善等を要し、適正又は妥当性を欠くもの）
注意事項に該当するものは、次のとおりである。

対象機関の 属する部局名	調査区分	件数	説明
農林水産部	収入	1	直接収納した現金について、合計金額が1万円に達した場合は遅滞なく金融機関に払い込まなければならないところ、月の途中で達したにも関わらず、月の末日までの金額をとりまとめて払い込んでいた。
	工事	1	ため池工事について、建設機械（質量20t以上）の運搬費を設計図書に計上すべきところ、これを行わず、積算が過小となっていた。
		1	ため池工事について、鉄筋加工組立の単価を、施工規模10t以上で算出すべきところ、10t未満で積算していた。また、現地で発生する鉄くずの引き取り費用についても設計図書に計上していなかったため、積算が過大となっていた。
		1	水路の護岸工事について、建設機械（質量20t以上）の運搬費を設計図書に計上すべきところ、これを行っていなかった。また、残土の運搬距離についても誤っていたため、積算が過小となっていた。
計			4件